

国の教育ローン

高校や短大、大学、専修大学、各種学校などに入学、在学する子供を持つ家庭を対象とした公的な融資制度です。子供1人につき350万円以内を固定金利〔11月10日現在年2.05%（母子家庭・父子家庭または世帯年収〈所得〉200万円〈122万円）以内であれば年1.65%）〕で利用でき、在学期間中は利息のみの返済も可能です。

問い合わせ 日本政策金融公庫教育ローンコールセンター ☎0570・008656 商工労働課 ☎24・8074

わな狩猟免許を取得しませんか

わな狩猟免許取得に係る費用の一部を助成します。申請方法などの詳細は市ホームページをご覧ください。

助成内容 免許取得費用と事前講習会受講費の1/2以内

問い合わせ 農林水産課 ☎24・8081

じみんの広場

市民の皆さんの文化、スポーツ行事などを掲載しています。詳しいことはそれぞれの連絡先へお問い合わせください。

●八十山雅子・和代冬展

12月1日(火)～平成28年2月21日(日) 八十山雅子・和代美術館 200円(高校生以下無料) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) ☎ 八十山雅子・和代美術館 ☎43・3458

●粟津演舞場再興1周年記念

嘉門達夫サイコーライブ!
12月5日(土)15時30分開場 16時開演 粟津演舞場(粟津温泉) 前売り3,500円、当日4,000円(全席自由、学割あり) ☎ 粟津演舞場 ☎65・3939

●小松市民吹奏楽団第46回定期演奏会

12月6日(日)13時30分開場 14時開演 公会堂 前売り500円、当日800円(ヨシダ楽器、音楽工房Wind-Jamにて前売り券販売) ☎ 柴田 ☎090・3764・4098

●しあわせのいえ

◎イングリッシュハンドベルコンサート 12月8日(火)10時30分～12時 定員:15人 600円 ◎ヨガで足軽やか 12月9日、16日いずれも水曜日10時30分～11時30分 定員:15人 800円 ◎色彩セラピー・アロマスワッグづくり 12月11日(金)10時～11時 定員:10人 1,500円 ◎新米ママのベビースキンケア講座 12月15日(火)10時～11時30分 定員:15人 800円 ◎クリスマスレジンアクセサリーづくり 12月17日(木)10時～12時 定員:10人 500円～ ◎クリスマスフラワーコーディネート 12月17日(木)10時～11時 定員:10人 1,600円 ◎しあわせのいえウィンターパーティー 12月18日(金)13時～17時 定員:30人 入場無料 ◎アートフラワーで雅なしめ飾りづくり 12月19日(土)10時～12時 定員:15人 1,800円 ◎クリスマス多肉植物寄植教室 12月19日(土)10時30分～12時 定員:15人 2,700円 ☎ しあわせのいえ ☎47・0309

●第17回ハンドメイドショップCHUCHU作品展

12月10日(木)～15日(火) スタジオ・イン ☎ ラブ・シンヤ 浦場 ☎24・3311

●ウォルフガング・ダウィッド&梯剛之デュオ・リサイタルII

12月10日(木)19時開演 こまつ芸術劇場うらら小ホール 一般3,500円、小学生2,500円 ☎ 木田 ☎22・9366

●理科&ものづくり教室「ジェットコースターを作って遊ぼう!」

12月12日(土)9時30分～11時30分 こまつ杜わくわくこまつ館 対象:小学3～6年生 定員:20人 無料 ☎ 12月5日(土)までに住所、氏名(ふりがな)、性別、学校名、学年、電話、写真掲載の可否を記入し、FAXまたは郵送で〒923-8666 こまつ杜1 わくわくこまつ館 ☎24・2154 ☎24・2164

●子ども料理教室&私たちの暮らし勉強会

12月12日(土)15時～18時30分(14時30分受付開始) 第一地区コミュニティセンター 対象:ひとり親家庭の小学生の親子 800円 持ち物:エプロン、三角巾(子供のみ) ☎ 小松市母子寡婦福祉協会(こども家庭課内) ☎24・8073

●第3回工藤俊平ソロリサイタル

12月13日(日)13時30分開場 14時開演 こまつ芸術劇場うらら小ホール 1,000円 ☎ 工藤 ☎090・8099・3904

●小松地区日中友好協会 作品展

12月14日(月)～18日(金) 市役所エントランスホール 内容:真愛与和平・中国三老師書画秀作と九谷揮毫作品展、第11回中国著名家「書画秀作展」 ☎ 小松地区日中友好協会 ☎24・6285

●ゆがみ体操教室

◎親子DEゆがみ体操教室 12月16日(水)10時30分～11時30分 対象:産後ママと赤ちゃん(4カ月～2歳) 定員:5組 500円 ◎ゆがみリセット体操教室 12月9日(水)10時～11時、16日(水)13時～14時 定員:各5人 700円 いずれもこまつまちづくり交流センター ☎ ぴあふれんど 奥村 ☎080・3044・1515

●山内登喜雄・山内晃世絵画展&クリスマスコンサート

◎二人展 12月16日(水)～23日(水・祝)無料 ◎andanteクリスマスコンサート 12月23日(水・祝)18時～ 3,000円(食事付き) いずれもstudioTARO(白江町ハ67) ☎ 太田 ☎090・2036・4462

●発達をフォローするベビーマッサージ

12月17日(木)9時50分～12時 こまつまちづくり交流センター和室 対象:0歳児とママ 3,300円 持ち物:オイル(無い人はご相談ください) ☎ 南加賀育児サークル ☎090・7588・0674

●外国人と一緒にX'mas Party

12月20日(日)13時～15時 市民センター小ホール 中学生以上1,200円、会員1,000円、小学生800円、幼児500円(軽食付き) ☎ 小松市国際交流協会 ☎21・2226

●親子スノーモービル体験

対象:小学生までの親子 大人2,000円、小学生1,000円 ※詳細はお電話で ☎ 林 ☎090・9444・4773

●ふぐ処理資格者試験準備講習会

平成28年1月26日(火)9時～17時 金沢勤労者プラザ(金沢市北安江3-2-20) 対象:石川県ふぐ処理資格者試験を受験する人 定員:26人(先着順) 29,500円(テキスト代含む) ☎ 石川県調理師会 ☎076・236・2012



みまっし、きくまっし 小松の方言

加藤和夫 ●金沢大学人間社会学域教授・日本語学

小松方言の語源

その38

京都語由来のイキリとイトシゲニ

今回は、前回までの身体部位の方言から話題を変え、かつての中央語(京都語)由来の小松方言の中から「湯気」の意味のイキリと、感謝のことば「ありがとう」にあたるイトシゲニを取り上げます。

「湯気」の方言イキリは中央語「いきり」に由来

最近では、あまり聞かれなくなっていると思いますが、小松市内の広い範囲で「湯気」のことをイキリと言っていました。このイキリも、小松で生まれた方言ではなく、かつての中央語地域である京都で使われたことが伝播したものと考えられます。「湯気」の意味の「いきり」は、江戸時代前期の俳諧「玉海集」(安原貞室編 1656年刊)に「いまだ

とをくはのびじ落人道筋にいきりこそたて馬のふん(傍点筆者)のように登場しています。

また、『日本方言大辞典』(小学館)には「湯気」を指す方言イキリが使われる地域として、小松を含む石川県のほか、富山県砺波、静岡県志太郡、鳥取県西伯郡、岡山市が載り、イキリが京都を中心に、東は石川・富山西部や静岡、そして西の鳥取や岡山にと伝播したことを思わせませす。

イトシゲニはキノドクナと同じ発想

小松の方言で聞かれる感謝のことばには、北陸三県に共通のキノドクナや金沢を中心に加賀地方で広く聞かれるアンヤトのほか、イトシゲニ(イトシギニも)、ショッシャナー(シヨシヤノー)もなごがあります。

このうち、イトシゲニは「かわいそうな」の意味の京都語・上方語「愛しげ」に由来し、本来、自分のために気遣いをしてくれた相手をかかわいそうに思う気持ちで感謝のことばとなったもので、北陸地方で広く用いられる感謝のことばキノドクナ(自分に気遣いをしてくれた相手が「気の毒だ」と同じ発想によるものと言えます。福井県の大野市・勝山市で聞かれる感謝のことば、ヤナコッチャ(相手にとつて「嫌なことだ」も同様です。

『日本方言大辞典』(小学館)によれば、「かわいそうなさま。気の毒なさま」の意味の「いとしげ」の使用地域として、富山県東礪波郡、石川県石川郡、同江沼郡、岐阜県飛騨、島根県隠岐島、香川県丸亀市、同小豆島が載り、文献例として、浮世草子「御前義経記」(1700年刊)の「いとしげさうに」「伊勢様になんのがが有る事ぞ」(傍点筆者)という、江戸時代前期の上方語の例が見られます。

歴史の舞台裏

「デッサンする」ということ

第3回宮本三郎記念デッサン大賞展が終わりました。今回の受賞作品は「デッサン」をどう捉えるかがキーポイントだったように思います。

この期間中、標記タイトルで窪島誠一郎氏の記念講演会があり、この中で「絵はみるのではなく、よむもの。よむための反復作業がデッサンである」と述べられています。つまり、絵をよむとは、作品の背後にあるもの(＝画家の生き様)をつかみ取ることだとしています。

デッサンは完成品ではありません。作品が出来上がるまでに何枚も描きます。この繰り返しの中で、描き手の心の移り変わりが感じ取れ、完成品の中でその生き様が表現されます。

更に、デッサンするには「よくみるということ」と写実の天才と言われた宮本三郎は著書の中で書いています。つまり、細かく注意してみることでなく、全体を比較して単純な大きな様相をつかむことだと指摘しています。

デッサンするということは、描きたいものをよくみて様相をつかみ、繰り返し描くことで己の人生観を加味していく、言わば、デッサン＝人生観といっても過言ではないように思います。

ご覧になった皆さんは作品にどのような人生観を感じたでしょうか。教育庶務課市史編集担当

▶宮本三郎デッサン

☎24・8274